

職場体験レポート

作成者

鬼北町立広見中学校

3年 氏名：岡本 渚沙

職場の紹介

株式会社 いのすや

創業：昭和63年

住所：北宇和郡鬼北町大字出目18番地

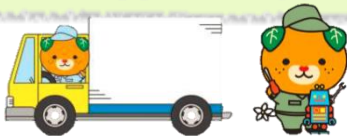
特色：悪かろう安かろうは作りません

従業員：100人

品質を重視し、農産加工におけるニーズに対し、真剣に取り組んでいる会社です。鬼北町近隣で栽培されている柚子の加工を中心に、缶詰、ゼリー、ソース、ピューレ、カット品など、果実から根菜類まで様々な農産加工をしています。また、それらの経験を基に、オリジナル商品を製造する会社です。

こんな職場です！

事業所の写真



職場で体験したこと



1日目の午前中は、柚子の収穫を行いました。斜面が急で踏ん張って収穫するには苦労しました。足が痛くなりましたが、事業所の方に優しく声を掛けてもらい、頑張ることができました。午後からは、栗の加工を行いました。同じ作業の繰り返しで、手が痛くなりました。

2日目の午前中は、昨日と同じ栗の加工を行いました。時間をかけて蒸した栗を、半分に切り中身をくりぬく作業です。昨日よりも手早くできました。午後からは、果汁を絞った柚子の皮から「へた」を取り除く作業をしました。思っていたよりも力がある作業だったこと、ずっと立ったままだったことで体のあちこちが痛くなりました。

3日目の午前中は、かごに袋を掛ける仕事やふたのシールはがしをしました。午後からは、プラスチック容器を拭く作業をしました。細かな作業だったり、数が多かったりして大変でした。

3日間大変なこともあったけれど、貴重な体験がたくさんできました。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

体験中は、仕事をされている方々がいつも私たちのことを気遣い、優しく話し掛けてくださいました。ちょっとした会話でしたが、疲れを感じているときに話し掛けていただいたので、うれしかったです。

大変だったこと、失敗したこと

1日目に果汁を絞るための柚子の収穫を体験しました。柚子園は、急斜面で踏ん張って収穫をするのに足が痛くなりました。また、柚子にはとげがあり、手に刺さるので、収穫するのが大変でした。



感想

働く人の姿から学んだこと

柚子の加工や栗の加工など、いろいろな仕事がありました。その仕事が多分担されていて、手際よく行われていました。販売できる商品にするために、チームワークを発揮して仕事をする大切さを学ぶことができました。

全体を通して学んだこと

仕事の厳しさを学ぶことができました。華やかな仕事ばかりではなく、今回体験したような仕事もあり、それも重要な仕事だということがわかりました。仕事をしてお金を得るということの大変さを実感することができました。

